



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社エクセル

コード番号 7591 URL <http://www.excelweb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大滝 伸明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経経本部長兼経理部長 (氏名) 太田 勝男

TEL 03-5733-8404

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	118,986	△31.6	2,792	△13.4	2,566	△22.8	2,330	—
27年3月期第3四半期	173,932	102.9	3,223	97.8	3,322	82.3	△10,570	—

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 2,022百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 △10,998百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	268.96	—
27年3月期第3四半期	△1,219.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	73,883	22,592	30.4	2,590.77
27年3月期	107,949	20,864	19.3	2,401.57

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 22,452百万円 27年3月期 20,812百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	17.00	—	17.00	34.00
28年3月期	—	17.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	160,000	△32.0	3,100	△31.9	2,800	△39.8	2,670	—	308.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	9,086,755 株	27年3月期	9,086,755 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	420,467 株	27年3月期	420,447 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	8,666,292 株	27年3月期3Q	8,666,308 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期のおわが国経済の状況は、中国経済の伸悩みや原油安を背景とした新興国経済の減速の影響を受ける一方、個人消費の緩やかな持ち直し等もあり、一進一退の動きとなっています。一方、米国利上げに端を発した証券市場・為替市場の不安定化、懸念されている中国経済の今後の動向等、今後の不安定要因も抱えた状況となっています。

こうした状況下、当社グループの属する電子部品業界では、中国市場を中心としたスマートフォン及びその関連部品等の伸び悩みによる現地事業者間のシェア変動の影響も大きく、競争激化の中で事業構造の見直し等の検討を開始している部品メーカーも見られる状況です。

当社グループにおいては、日系顧客の海外生産シフトを含めた海外直接取引の拡大並びに海外顧客との新規ビジネス開拓に取り組み、事業規模の維持拡大に努めましたが、スマートフォン市場の製品勢力図の急速な変化や中小型、大型液晶市場の価格競争等の影響により売上高は1,189億86百万円（前年同期比31.6%減）となりました。

また、各品目別の概況は次のとおりであります。

- | | |
|------------|---|
| (液晶デバイス) | 国内市場における大型液晶の販売が拡大したものの、海外市場における中小型液晶の需要低迷及び大型液晶の価格競争の影響により販売が減少し、売上高は596億16百万円（前年同期比50.4%減）となりました。 |
| (半導体・集積回路) | 国内市場における半導体ビジネス等の販売は伸長したものの、海外市場におけるスマートフォン、タブレット向けを中心とするドライバーIC等の販売が低迷したことにより、売上高は149億10百万円（前年同期比1.0%減）となりました。 |
| (電子部品・その他) | 国内市場における電子デバイス販売は微減したものの、海外市場における液晶モジュール用デバイス等の販売が増加したことにより、売上高は444億60百万円（前年同期比14.8%増）となりました。 |

利益面では、売上原価1,128億40百万円を控除した売上総利益は61億46百万円（前年同期比3.0%減）となり、人件費16億95百万円を中心とする販売費及び一般管理費は33億54百万円であり、結果営業利益は27億92百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

営業外収益及び費用では受取配当金54百万円、負ののれん償却額46百万円、支払利息289百万円、及び為替差損67百万円等を計上した結果、経常利益段階では25億66百万円（前年同期比22.8%減）の利益となっております。

特別利益及び損失では、貸倒引当金戻入額4億95百万円を特別利益に計上した結果、税金等調整前四半期純利益は30億62百万円となり、税金費用等を控除して当第3四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益は23億30百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失105億70百万円。）となっております。尚、貸倒引当金戻入額4億95百万円の特別利益計上につきましては、平成27年3月期決算において当社子会社である卓華電子（香港）有限公司が、WINTEK社に対して有する売掛債権について、その全額を破産更生債権に振り替え、特別損失として貸倒引当金繰入額137億20百万円を計上しておりましたが、今般、市場返品に伴うWINTEK社からの請求額と、破産更生債権の一部との相殺等を行ったことによります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

日本では大型液晶の販売が拡大し、売上高は200億31百万円（前年同期比48.5%増）となりました。一方、アジアにおいては海外子会社による中小型液晶の需要低迷及び大型液晶の価格競争の影響により販売が減少し、売上高は989億55百万円（前年同期比38.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の連結総資産は、738億83百万円（前連結会計年度末対比340億66百万円、31.6%の減少）となりました。

資産では、受取手形及び売掛金279億91百万円を中心とする流動資産が648億80百万円で、総資産の87.8%を占め、固定資産90億2百万円が残りの12.2%を占めています。

一方、負債合計512億90百万円（前連結会計年度末対比357億93百万円、41.1%の減少）のうちでは支払手形及び買掛金148億73百万円、短期借入金210億30百万円、1年内返済予定の長期借入金30億87百万円、長期借入金96億円がその主なものとなっています。

純資産の部では、純資産合計は225億92百万円（前連結会計年度末対比17億27百万円、8.3%の増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期通期連結業績予想につきましては、平成27年10月2日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項(4)、連結会計基準第44－5項(4)及び事業分離等会計基準第57－4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,260	17,725
受取手形及び売掛金	45,785	27,991
商品及び製品	37,758	17,297
その他	1,560	1,906
貸倒引当金	△42	△40
流動資産合計	98,322	64,880
固定資産		
有形固定資産	2,203	2,189
無形固定資産	46	22
投資その他の資産		
破産更生債権等	15,635	15,067
その他	7,408	6,822
貸倒引当金	△15,667	△15,099
投資その他の資産合計	7,377	6,790
固定資産合計	9,627	9,002
資産合計	107,949	73,883
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	24,422	14,873
短期借入金	44,101	21,030
1年内返済予定の長期借入金	3,076	3,087
未払法人税等	247	85
賞与引当金	138	104
役員賞与引当金	-	31
その他	783	694
流動負債合計	72,768	39,908
固定負債		
長期借入金	12,305	9,600
退職給付に係る負債	215	198
資産除去債務	6	6
負ののれん	125	78
その他	1,662	1,498
固定負債合計	14,315	11,381
負債合計	87,084	51,290

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,086	3,086
資本剰余金	3,126	3,126
利益剰余金	12,266	14,302
自己株式	△571	△571
株主資本合計	17,908	19,944
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,679	2,484
繰延ヘッジ損益	△5	△1
為替換算調整勘定	192	△11
退職給付に係る調整累計額	36	35
その他の包括利益累計額合計	2,904	2,507
非支配株主持分	52	139
純資産合計	20,864	22,592
負債純資産合計	107,949	73,883

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	173,932	118,986
売上原価	167,598	112,840
売上総利益	6,334	6,146
販売費及び一般管理費	3,110	3,354
営業利益	3,223	2,792
営業外収益		
受取利息	5	15
受取配当金	43	54
仕入割引	30	9
負ののれん償却額	46	46
為替差益	56	—
その他	4	18
営業外収益合計	187	143
営業外費用		
支払利息	77	289
為替差損	—	67
その他	10	12
営業外費用合計	88	369
経常利益	3,322	2,566
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	495
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	—	495
特別損失		
固定資産除却損	0	0
貸倒引当金繰入額	13,208	—
特別損失合計	13,209	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△9,886	3,062
法人税、住民税及び事業税	599	348
法人税等調整額	72	293
法人税等合計	671	642
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,558	2,419
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	88
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10,570	2,330

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,558	2,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	△195
繰延ヘッジ損益	△25	3
為替換算調整勘定	△456	△204
退職給付に係る調整額	0	△1
その他の包括利益合計	△439	△397
四半期包括利益	△10,998	2,022
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,011	1,934
非支配株主に係る四半期包括利益	13	87

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,488	160,444	173,932	—	173,932
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,177	711	2,888	△2,888	—
計	15,665	161,155	176,821	△2,888	173,932
セグメント利益	25	3,259	3,285	△61	3,223

(注) 1 セグメント利益の調整額△61百万円は、主にセグメント間取引の消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	20,031	98,955	118,986	—	118,986
セグメント間の内部売上高又は振替高	6,746	1,393	8,140	△8,140	—
計	26,777	100,349	127,127	△8,140	118,986
セグメント利益	94	3,324	3,419	△627	2,792

(注) 1 セグメント利益の調整額△627百万円は、主にセグメント間取引の消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。